

和歌山縣報

第千四百四十三號

明治四十五年一月三十日

○縣令

○和歌山縣令第五號

明治三十五年六月縣令第八十九號興行取締規則左ノ通改正ス

明治四十五年一月三十日

和歌山縣知事 川村竹治

興行取締規則

第一章 總則

第一條 本則ニ於テ興行ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ公衆ニ對シ左ノ各號ノ行爲ヲ爲スヲ謂フ

一、演劇

二、其ノ他ノ興行

能樂、講談、落語、淨瑠璃、其ノ他ノ音曲ノ類ヲ演スルモノ

活動寫眞、パノラマ、キネオラマ、幻燈、映畫等ノ映寫又ハ展覽

曲馬、曲藝、相撲、手品、手踊其ノ他ノ諸演技

生人形、繪畫等美術工藝品、動植物、礦物其ノ他ノモノ、展覽又ハ蓄音機ノ使用等

第二條 常設興行場ヲ建築セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ當廳ノ許可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ移轉、増築、改築、修繕、變更セムトスルトキ亦同シ但シ増築、改築、修繕、變更ノ場合ハ必要ナル事項ノ外記載スルヲ要セス

一、建築ノ位置、敷地總坪數、場名アルトキハ其ノ名稱、使用ノ目的、他人ノ所有地ナルトキハ其ノ承諾書

二、建物ノ平面圖(客席、舞臺、出入口、非常口、通路戸ノ開ク方向、採光換氣窓、藝入ノ扣所、階段、壁及便所等ノ位置等ヲ明記シタル縮尺五十分ノ一)

三、配置圖(四隣一町以内ノ地物ヲ表示シ樞要ノ箇所ニハ尺度ヲ記入シタル縮尺六百分ノ一)

四、建物ノ斷面圖(材料ノ種別寸面等ヲ明記シタル縮尺二十分ノ一乃至十分ノ一) 外面圖(前面、側面、後面) 小屋伏圖(合掌小屋屋混交ノモノハ其ノ區別ヲ) 床伏圖(柱及床柵、床大引、根太等ノ位) 及設計仕様書
明記シタル縮尺五十分ノ一)

五、入場者定員
六、落成期限

第三條 常設興行場ハ學校、病院、官公署其ノ他必要ト認ムル場所ニ對シ適當ノ距離ヲ取ラシムルコトアルヘシ

第四條 常設興行場建設ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一、建設ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ過クルモ工事ニ着手セザルトキ
二、落成期日經過後六十日ヲ過クルモ落成セザルトキ

第五條 常設興行場ノ構造落成シタルトキハ當廳ノ使用認可ヲ受クヘシ増築、改築、修繕、變更ノ

場合亦同シ

第六條 常設興行場ヲ買受ケ又ハ讓受ケタルトキハ當事者連署ノ上五日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ

第七條 常設興行場所有者ノ住所、氏名ニ異動ヲ生シ又ハ廢場シタルトキ又ハ家督相續若ハ遺產相

續ニ因リ興行場ノ所有權ヲ繼承シタルトキ又ハ代表者ノ變更若ハ住所氏名ニ異動ヲ生シタルト

キハ五日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ

第八條 仮リニ興行場ヲ建設セムトスル者ハ其ノ都度第二條ニ準シ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ

但シ第四號ノ事項ヲ具スルヲ要セス

前項ノ興行場ノ構造落成シタルトキハ所轄警察官署ノ使用認可ヲ受クヘシ

興行場トシテ一時他ノ建物ヲ代用セムトスルトキハ前二項及其ノ罰則ノ規定ヲ準用ス

第九條 所轄警察官署ハ危害豫防又ハ衛生ノ爲必要アリト認ムルトキハ興行場ノ改築、修繕、變更

又ハ相當ノ設備ヲ命スルコトアルヘシ

第二章 構造及制限

第十條 常設劇場ノ構造ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一、幅員四間以上ノ道路又ハ道路ノ幅員ヲ通算シテ四間以上ノ空地ヲ有スル場所ニ面スルニ非

サレハ建設スルコトヲ得ス

二、建物ノ左右及後面ニハ二間以上ノ空地ヲ存スルコト（道路ニ沿フタル場所ハ其ノ幅員ヲ算入ス）

三、光線ノ射入及空氣ノ流通ニ便ナラシムル爲適當ノ場所ニ窓ヲ設クルコト

四、三階以上ニ客席ヲ設ケサルコト

- 五、屋上ハ不良燃質物ヲ以テ葺覆スルコト
- 六、客席ニハ其ノ前後左右(ニ階棧敷ニ在リ)ニ幅二尺以上及竪ニ九尺以内横ニ二間以内毎ニ幅一尺以上ノ適當ナル通路ヲ設クルコト
- 七、客席ハ凡テ一坪十二人詰以下ノ割合ト爲スコト若腰掛ヲ使用スルトキハ其ノ幅チ一尺以上トシ前後互互ノ距離ハ一尺二寸以上ト爲スコト
- 八、二階棧敷ノ階段ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ最寡定限以外ニ設クルモノニ付テハ(イ)ノ制限ヲ斟酌スルコトアルヘシ
- (イ) 前面ノ左右両端ニ各階段一個ヲ設クルコト但シ入場者定員千人以上ナルトキハ建物ノ狀況ニ依リ階段ノ個數ヲ増加セシムルコトアルヘシ
- (ロ) 入場者定員五百人未満ノモノニ在リテハ階段ノ幅内法五尺以上ニシテ蹴上六寸以下踏面九寸以上ト爲シ(勾配六寸七分ヨリ急ナラサルコト以下全シ)入場者定員五百人以上ハ五十人未満ヲ増ス毎ニ幅内法二寸五分ヲ増加スルコト但シ入場者定員三百人未満ノモノニ在リテハ幅内法四尺迄ニ減少スルコトヲ得
- (ハ) 階段ノ壁ニ接セサル部分ニハ高サ二尺以上ノ堅牢ナル扶欄ヲ設クルコト但シ幅内法六尺以上ノ階段ニ在リテハ更ニ中央ニ同様扶欄ヲ設クルコト
- (ニ) 隅段又ハ螺旋狀ノ階段ヲ設クヘカヲサルコト
- 九、客席天井ノ高サハ床上ヨリ十八尺以上ト爲スコト但シ廊下及二階棧敷ノ天井ノ高サハ其ノ床上ヨリ七尺以上ト爲スコトヲ得
- 十、二階棧敷ニハ前面ニ高サ一尺八寸以上ノ堅牢ナル扶欄ヲ設クルコト

十一、客席ニ床ヲ設ケルトキハ地盤ヨリ一尺以上ト爲スコト

十二、客席ニ床ヲ設ケサルトキハ石煉瓦漆喰敷又ハ「コンクリート」ト爲スコト

十三、非常口ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ入場者定員五百人未滿ノ劇場及百人未滿ノ二階棧敷ニ

在リテハ建物ノ狀況ニ依リ本號ノ制限ヲ適當ニ斟酌スルコトアルヘシ

(イ) 入場者定員十人未滿ノモノニ在リテハ適當ノ場所ニ高サ及幅内法六尺以上ノ非常口

二箇所以上ヲ設ケ入場者定員千人以上ハ五百人未滿ヲ増ス毎ニ一箇所ノ割合ヲ以テ

増設スルコト

(ロ) 二階棧敷ハ入場者定員五百人未滿ノモノニ在リテハ幅内法五尺以上蹴上六寸以下階

面九寸以上ノ非常用階段二個以上ヲ適當ナル場所ニ設ケ入場者定員五百人以上ハ五

十八未滿ヲ増ス毎ニ幅内法二寸五分以上ヲ増加スルコト

十四、出入口及非常口ノ扉ハ外開キ戸又ハ適當ナル引戸ト爲スコト

十五、前面出入口ト客席トノ間ニ見隠シヲ設ケルトキハ容易ニ取外シ得ヘキ裝置ト爲スコト

十六、前面ニハ木戸口ノ外入場者定員千人未滿ノモノニ在リテハ高サ内法六尺以上幅内法九尺

以上ノ出口ヲ設ケ入場者定員千人以上ハ五百人未滿ヲ増ス毎ニ幅三尺以上ヲ増加スルコト

十七、非常口ニハ内部ヨリ賭場ヲ場所ニ豎一尺五寸幅五寸ノ黒板ニ非常口ト白書シ常ニ釘付シ

置クコト

十八、廻圍ハ入場者用ト藝人用トチ區別シ各客席ヨリ二間以上ヲ隔テ適當ニ構造スルコト

十九、藝人ノ扣所及通路ハ客席ヨリ見透ササル様構造スルコト

二十、構内適當ナル場所ニ非常用井戸一ヶ所以上ヲ設ケルコト

第十一條

常設寄席ノ構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一、二階棧敷又ハ二階席ノ階段ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ本號ノ最募足限以外ニ設クルモノニ付テハ(ロ)ノ制限ヲ斟酌スルコトアルヘシ

(イ) 前面ノ左右兩端ニ各階段一個ヲ設クルコト但シ入場者定員五百人以上ナルトキハ建物ノ狀況ニ依リ階段ノ個數ヲ増加セシムルコトアルヘシ

(ロ) 入場者定員三百人未滿ノモノニ在リテハ階段ノ幅内法四尺以上ニシテ蹴上六寸以下踏面九寸以上ト爲シ入場者定員三百人以上ハ五十八人未滿ヲ増ス毎ニ幅内法二寸五分以上ヲ増加スルコト但シ入場者定員百人未滿ノモノニ在リテハ階段ノ幅内法三尺迄ニ減縮スルコトヲ得

二、入場者定員三人未滿ノ寄席ニ在リテハ高サ内法六尺以上幅内法四尺以上ノ非常口ニケ所以上ニ階席若ハ二階棧敷ニ在リテハ幅内法四尺以上蹴上六寸以下踏面九寸以上ノ非常用階段二個以上ヲ適當ナル場所ニ設ケ入場者定員三百人以上ハ五十八人未滿ヲ増ス毎ニ幅内法二寸五分以上ヲ増加スルコト但シ入場者定員百人未滿ノ二階棧敷ニ在リテハ階段ノ幅内法三尺迄ニ減縮スルコトヲ得

三、前面ニハ木戸口ノ外入場者定員三百人未滿ノモノニ在リテハ高サ及幅内法六尺以上ノ出口ヲ設ケ入場者定員三百人以上ハ五十八人未滿ヲ増ス毎ニ幅五寸ヲ増加スルコト

四、前條第一號、第三號乃至第七號、第八號(ハ)(ニ)第九號乃至第十二號、第十四號、第十五號、第十七號乃至第二十號ハ寄席ニモ亦之ヲ適用ス

第十二條 劇場寄席以外ノ常設興行場ノ構造ハ定員五百人以上ノモノニ在リテハ劇場ノ例ニ依リ定

員五百人未滿ノモノニ在リテハ客席ノ例ニ依ルヘシ但シ特種ノ構造ヲ必要トスルモノニ在リテハ其ノ例ニ依ラサルコトヲ得ルコトアルヘシ

第十三條 常設興行場ニハ適當ナル消火器五個以上及非常用蓄水器ヲ設備スヘシ

第十四條 仮設興行場ノ構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一、棧敷ハ堅牢ニシテ高サ五尺以下トシ其ノ下ニ客席ヲ設ケサルコト

二、客席ニハ適當ノ屋根ヲ設クルコト

三、周圍ハ板又ハ綿布類ヲ以テ圍繞スルコト

四、便所ハ臭氣ノ客席ニ達セサル場所ニ設ケ男女ヲ區別シ其ノ他相當ノ設備ヲ爲スコト

五、幅六尺以上ノ非常口一個以上ヲ設クルコト

本則第十條第三號第六號第七號第十四號第十五號第十七號第十九號ノ規定ハ仮設興行場ニ之ヲ準用ス

第八條第三項ノ場合ニ於テ前二項ノ例ニ準ス

第十五條 火鉢、煙草盆其ノ他火災ノ原因ト爲リ又ハ燃燒シ易キ物品ヲ藏置スル場所ハ適當ナル防火裝置ヲ爲スヘシ

第三章 興行

第十六條 演劇ハ劇場以外ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 興行ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ詳記シ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ其ノ許可ヲ受ケタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事項ニ付更ニ許可ヲ受クヘシ但シ第八條ノ興行場ニ在

リテハ繼續シテ十日以上ノ興行ヲ爲シ又ハ前興行後三十日以内ニ於テ興行ヲ爲スコトヲ得ス

一、場所場名アルモノハ其ノ場名

二、興行ノ種類演劇ニ在リテハ其ノ藝題

三、新派劇、活動寫眞、覗目鏡、幻燈、映畫ニ在リテハ其ノ脚本又ハ筋書若ハ説明書

四、興行ノ期間及開閉ノ時刻

五、入場料又ハ席料、木戸錢、下足、火鉢、敷物料其ノ他入場者ヨリ收受スヘキ一切ノ料金額及其ノ名稱

六、藝人アルモノハ其ノ住所、氏名藝名アルモノハ其ノ藝名及鑑札寫

七、燈火ノ位置、種類及其ノ裝置ノ方法

前項ノ興行者ニシテ興行場ノ所有者ニ非サルトキハ其ノ所有者ノ連署ヲ要ス所轄警察官署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ興行前ニ於テ豫メ試験ヲ爲スコトヲ得

第十八條 祭典縁日等ノ場所ニ於テ一定ノ興行場ヲ建設スルコトナク路上又ハ路傍ニ於テ興行ヲ爲サムトスル者ハ前條第一項各號ノ事項及其ノ設備ヲ詳記シ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ他人ノ家屋前ナルトキハ其ノ住居者又ハ管理者ノ承諾ヲ要ス

第十九條 猛惡ノ動物又ハ其ノ演藝ヲ觀覽セシムルトキハ其ノ柵欄又ハ繫鎖ヲ堅牢ニシ危險ナカラシムヘシ

第二十條 興行者ハ左ノ行爲ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

一、通行人ニ對シ入場ヲ強ユル等ノコト

二、藝人其ノ他從業者ノ休息所ニ他人ヲ入レ若ハ藝人ヲ客席ニ入ラシムルコト

三、場内ノ通路ニ物品ヲ置キ又ハ其ノ他ハ所爲ニ因リ通行ノ妨害トナルヘキコト

四、何等ノ名義ニ拘ラス抽籤又ハ射倅ノ方法ニ依リ入場者ニ金錢物品其ノ他ノ利益ヲ供與スルコト

五、劇場以外ノ興行場ニ於テ演劇類似ノ所爲ヲ爲スコト

六、入場者ノ定員ヲ超過シ若ハ客席以外ノ場所ニ入場者ヲ入ラシムルコト

七、妄リニ時事ヲ諷刺シ又ハ政談ニ紛ハシキ行爲ヲ爲スコト

八、犯罪ノ方法手段ヲ誘致助成スルノ嫌アル行爲ヲ爲スコト

九、畸形ノ人体又ハ其ノ演技、猥褻ノ物品動作又ハ惡臭ヲ發スルモノヲ觀覽セシメ其ノ他公安

風俗ニ害アル行爲ヲ爲スコト

十、事實ト相違スル看板又ハ之ニ類似スルモノヲ表示シ又ハ虛偽ノ廣告ヲ爲スコト

十一、慘酷ニ涉ルノ嫌アル行爲其ノ他入場者ヲシテ不快ノ念ヲ起サシムル嫌アル行爲ヲ爲スコト

第二十一條 興行中警察官吏臨監レタルトキハ其ノ求ムル席ヲ供スヘシ

第二十二條 臨監警察官吏ニ於テ興行ノ種類、方法、説明又ハ一般ノ狀況、公安若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ興行ノ停止ヲ命スルコトヲ得

所轄警察官署ニ於テ興行ノ種類、方法、説明又ハ一般ノ狀況、公安若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ興行ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十三條 興行場ニハ賭場キ場所ヲ撰ミ三ヶ所以上ニ入場者ノ定員ヲ揭示シ定員外ニ入場セシムヘカラス

第二十四條 入場料又ハ席料、木戸錢、下足、火鉢、敷物料其ノ他總テ入場者ニ請求スル金額及其

ノ名稱ハ木戸口及ヒ其ノ他諸、易キ場所ヲ撰ミ、一尺幅二尺ノ黑板ニ白書シ、三ヶ所以上ニ揭示シ、
揭示シタル以外ノ金錢ヲ請求スヘカラス

第二十五條 客席ニ供スル敷物ハ清潔ナルモノヲ用ヒ且ツ時々日光ニ曝シ客席ハ毎日興行開始前拭
掃スヘシ

第二十六條 場内及便所等ハ時々掃除シ便所ニハ防臭劑ヲ撒布スヘシ

第二十七條 興行時間ハ日出ヨリ夜間十二時迄ヲ限リトス但シ一興行十二時間以上繼續スルコトヲ
得ス

光線ノ遮斷ヲ必要トスル興行ニ在リテハ興行中三十分以内毎ニ五分以上ノ休憩時間ヲ置キ其ノ
時間中ハ適宜窓戸ヲ開放シ室内ノ換氣ヲ爲スヘシ

第二十八條 夜間興行スルトキハ日没前ヨリ入場者ノ全ク退散スル迄非常口、出入口、客席、廊下、
階段及便所ニハ燈火ヲ点スヘシ若シ電燈又ハ瓦斯燈ヲ使用スルトキハ其ノ故障ノ場合ニ於テ之
ニ代フヘキ適當ナル燈火ヲ点スル設備ヲ爲シ置クヘシ但シ非常口ノ燈火ハ赤色ノモノヲ用ウヘ
シ燈火ノ燃質物ニ接近スル場所ニハ適當ナル防火ノ設備ヲ爲スヘシ

所轄警察官署ニ於テ必要ト認ムルトキハ燈火ノ種類個數、位置又ハ其ノ設備方法ヲ指定スルコ
トヲ得

光線ノ遮斷ヲ必要トスル興行ニ在リテハ晝間ト雖各前項及其ノ罰則ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 興行ノ許可ヲ受ケタル日數内ニ於テ休業セムトスルトキハ直ニ其ノ旨所轄警察官署ニ
届出ツヘシ

第三十條 興行中表出入口ハ常ニ開放シ非常口ニハ鎖鑰ヲ施サス火災其ノ他ノ事變ニ際シテハ入場

者ヲシテ容易ニ屋外ニ出ツルコトヲ得シムヘシ

第四章 罰 則

第三十一條 本則第二條第五條乃至第八條第十三條第十五條第十六條第十七條第一項第十八條第一項第十九條乃至第二十一條第二十三條乃至第二十七條第二十八條第一項第三十條ニ違反シタル者又ハ第九條第二十二條第一項第二十八條第三項ノ處分ニ從ハサル者ハ拘留又ハ料料ニ處ス

第三十二條 業務上ニ關シ代理人戶主、家族雇人其ノ他ノ從業者ノ爲シタル行爲ニ付テハ自己ノ指揮ニ出サル場合ト雖第三十一條ノ處罰ハ之ヲ興行場、所有者又ハ興行者ニ科ス

第三十三條 興行場所有者又ハ興行ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ第三十一條ノ處罰ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ科ス但シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ在リテハ此限ニ在ラズ
法人ニ適用スヘキ處罰ハ之ヲ法定ノ代表者ニ科ス

第五章 雜 則

第三十四條 營利ノ目的ニ非スト雖公衆ニ對シ第一條各號ノ行爲ヲ爲サムトスルトキハ本則第八條第十三條乃至第二十二條第二十五條乃至第二十八條及其ノ罰則ノ規定ヲ準用ス
官公署又ハ學校等ニ於テ經營スル展覽會競技會其ノ他興行類似ノ施設ニ關シテハ本則ノ規定ヲ適用セス

第三十五條 本則ニ依リ當廳ニ差出スヘキ願届書ハ總テ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第三十六條 未成年者又ハ禁治産者ノ願届ハ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第三十七條 本則施行前ニ建設シタル劇場、客席其ノ他ノ興行場ニシテ本則ニ適合セサルモノハ改

築又ハ大修繕ノ場合ニ於テ本則ノ構造制限ニ從フヘシ但シ第十條第七號ノ規定ニ抵觸スルモノハ本則施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ改造スヘシ
 小修繕ノ場合ト雖必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス本則ニ從ハシムルコトアルヘシ

○ 告 示

○和歌山縣告示第三十五號

兵庫縣養父郡養父市場村ニ於テ本月十一日和種牝牛一頭氣腫疽ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタリ
 明治四十五年一月三十日

和歌山縣知事 川村竹治

○ 辭 令

○明治四十五年一月二十五日

十一級俸下賜

德義中學校教諭 藤井 勳

○明治四十五年一月二十六日

新宮中學校縣出納吏及物品出納吏交替ニ付調査員ヲ命ス 東牟婁郡書記 高 常 春

○ 彙 報

○轉任 京都府何鹿郡立女子實業校長兼教諭正八位藤井勳ハ本月二十五日德義中學校教諭(奏任待
 遇)ニ轉任セリ

町村吏員ノ異動

○明治四十五年一月二十七日認可

東牟婁郡三津ノ村長 西 虎市

○觀象

自一月廿五日至一月廿七日氣象 (和歌山測候所觀測)

種目	一月廿五日		一月廿六日		一月廿七日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六六綫一	七七〇綫八	七六五綫二	七六五綫二	七六五綫三	七六八綫二
平均氣溫	三度〇	四度九	四度一	四度四	四度九	四度八
最高氣溫	一〇度〇	八度〇	一一度三	五度五	六度九	七度四
最低氣溫	冰点下一度九	二度二	冰点下一度四	三度四	三度四	二度六
最多風向	北四	北東	北四	北東	北々東	北
平均風力	二米九	二米九	三米三	二米三	三米三	三米七
天氣	晴	曇	晴	雨	曇	中晴
降水量				一八綫七	八綫五	
記事雜象	曉間結霜		曉間結霜	終日降雨	夕刻々降雨	午前六時縣下全部ノ警戒ヲ解除ス夜間月暈ヲ映ス

明治四十五年一月二十九日印刷
 明治四十五年一月三十日發行
 (每月三日六日九日十一日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印刷所 和歌山市北休賀町六番地 家七
 印刷所 和歌山市北休賀町六番地 家七
 印刷所 和歌山市北休賀町六番地 家七